

2026 年 7 月 21 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 E d u L a b

代 表 者 名 代表取締役社長兼 CEO 廣 實 学

(コード番号：4427 東証グロース)

問 合 せ 先 取 締 役 C F O 川 瀬 晴 夫

(TEL. 03-6897-3733)

「EduLab 高校生インターンシップ 2026」開催報告

～高校生自らが1年かけて企画・運営。経営者らを審査員に迎え、高校生がビジネスプランを発表～

株式会社 EduLab（以下「当社」）は、次世代人材育成の取り組みの一環として、2026 年 3 月から 6 月の 3 ヶ月間にわたり「EduLab 高校生インターンシップ 2026」を実施いたしました。

本プログラムは、「学校で感じる『学びのモヤモヤ（課題）』を特定し、その解決策（ビジネスプラン）を提案する」というテーマのもと、高校生が最終日に成果を発表する実践的な取り組みです。

昨年の初開催に続き2回目となる今回は、高校生からなる「企画運営チーム」が1年をかけて「自分たちが本当に受けたいプログラム」を検討し、企画・運営を行いました。実施期間の延長、外部経営者の招致、他校への参加呼びかけなど、高校生の視点を取り入れて内容を大幅に拡充し、実施へと至りました。



■高校生主体による企画・運営と他校への参加呼びかけ

本インターンシップは、「高校生向けの実践的なインターンシップが少ない」という課題意識を持った高校生自らが、当社に実施を提案したことから開始されました。

2 年目となる今回は、「様々な高校との交流を図りたい」というメンバーの意見から、企画運営チームの高校生が自らのネットワークを活用して他校の教員を訪問し、プログラムの趣旨説明および校内での周知依頼を行いました。また、「発表内容をじっくり検討したかった」という昨年の反省を踏まえ、ビジネスプランの市場性や実現可能性をより深く検討するため、プログラムの実施期間を前回の 2 ヶ月から 3 ヶ月へと延長する体制の見直しも、高校生の意見を反映して行われました。

■高校生が自らアポイントを取得。経営者らから学ぶリアルなビジネス

「経営者や様々な職業の方から話を聞いてみたい」という要望を実現するため、企画運営チームの高校生が審査員候補への連絡、アポイントメント取得、趣旨説明までを行ないました。

中間発表では教育業界の経営者を招いた講演会を実施し、さらに6月21日（日）の最終発表会では、社外から5名の経営者らを審査員として迎え、本格的な審査を行っていただきました。

最終発表会後の座談会では、実社会のビジネス視点に基づくフィードバックに加え、進路に関する親身なアドバイスも行われ、参加した高校生から「非常に有意義だった」と高い評価を得ています。

■参加者が語る「参加してよかった」実感の声

本インターンシップを終え、参加した高校生や運営チームからは以下のような前向きな声が寄せられています。

【参加した高校生の声（アンケートより一部抜粋）】

- ・「普段の学校生活では経験できないような、本格的な新規事業立案を体験できたことがとても良かった。メンターや社員の方々が高校生だからと妥協せず、実際のビジネスの視点でアドバイスをくださったため、とても学びが深まった。」
- ・「自分たちのアイデアを『面白いね』で終わらせるのではなく、市場や収益性、実現可能性まで考えながら具体的な形にしていく過程を経験し、『何かを実現することは夢ではなく、行動と工夫次第で本当に形にできるんだ』と感じられたことが、一番大きな学びだった。」
- ・「普段は考えない企業の立場になって、利益や売り込むための他企業との違いを考えられた。」
- ・「他の人の意見の着眼点や考え方をたくさん得られて良い経験になった。」
- ・「資料作成において『何を伝えたいのか』『どうすれば伝わりやすいか』を考える良い経験になった。」
- ・「スケジュールが柔軟で助かり、常に学業優先でいることができた。」

【企画運営チームの高校生の声】

- ・「会社見学をして実際のオフィスの様子を見ることができ、会議にも参加できたことで、会社のイメージを深めることができた。」
- ・「自分たちと同じ高校生たちが日々成長していく姿を間近で見ることができ、非常にやりがいを感じた。」

■今後の取り組み

本インターンシップは、参加者の皆様から非常に前向きな評価をいただき、教育事業に従事する当社にとっても非常に意義深い取り組みとなりました。

当社は、今後も高校生を対象とした実践的な学びの機会を提供し、社会とつながる成長機会を通じて、次世代を担う人材育成に貢献してまいります。



◆株式会社 EduLab について

EdTech（教育×テクノロジー）分野における新事業の開発・投資、教育 IT ソリューション・プラットフォームの提供、次世代教育の支援、スクールマネジメントなど、最新のラーニングサイエンスをベースに次世代の教育ソリューションを実現します。

以 上